2013年

第 180 号

かわら版

ASUKA KAWARABAN

発行所 飛鳥出版室 発行人 教野 正将

〒780-0945 高知市本宮町65-6 電話 088-850-0588 e-mail:info@asuka-net.jp http://www.asuka-net.jp



「秋桜」 於:越知町コスモス祭り 撮影:北川昌平

秋深まり、何をするにもからりと心地の良い 季節。しかし今年は「10年に一度」とも言われる大型の台風がいくつも発生、接近し、列島に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われました皆様に心からお見舞い申し上げます。

年の瀬に向けて慌ただしくなっていく中、どうか心は穏やかで、お健やかなものでありますように。

風の人、土の人 💁	2
キルギスタンからコンニチハ 🔞氏原名美	4
いろいろかいろ 🛨安藝真一	5
書籍解体新書	6
文章力レベルアップ講座 ધो水木和香	7
ヒナタクサイ日記 ⑩やまげんらう	8
ブックレビュー	9
出版物紹介	10
催し物案内板	11
わが家の大郎 森 永野雅子	12

飛鳥「かわら版」は、あらゆる世代の自分史・個人誌作りを応援します。

生の人

高知家 を想う人たちによる知と技の融合

捉える活動

昭彦

され」、「土佐を元気にする」とい で俯瞰的」、「身近で誰にでも理解 家のための学問ではなく、「総合的 のような分析的で細分化された専門 び・希望・活力を与える知や技の集 て私たちが標榜するのは、これまで まりを「土佐学」と呼びます。そし 活する人々、土佐を愛する人々に喜 月に設立された土佐の高知の地元学 つ三つの柱を持った新しい学問なの 研究団体です。 私たちは、土佐で牛 「土佐学協会」は、平成十八年十

まるか! 土佐がぱみかえる」第一 立ち上げ、約半年間の活動を経て平 業と文化研究会」の三つの研究会を 成十九年三月末、「土佐学年報・た 土佐のお茶研究会」「絶滅危惧の産 発会初年度は「土佐酒学研究会」

> 第一回」を開催しました。 号を発行し、四月には「土佐学大会・

関する比較分析』を実施し、さらに 協会全体でのメイン事業も実施。こ 再現!』も開催しました。またこの年、 の研究助成金をいただき、『土佐の の年は、アサヒビール学術振興財団 年単位となり、研究会活動に加え、 新たに「地域文化デジタルアーカイ 三十年代・香長平野の「おきゃく」 『~ 土佐の「三丁目の夕日」~ 昭和 「おきゃく」における酒と食文化に ブ研究会」も加わり、四つの研究会 二年目の平成十九年四月からは

ドラマ「龍馬伝」にからめて作製した、 四年目の平成二十一年にNHK大河 特に記憶に残っているものとしては、 過去に取り組んできた事業の中で

プ (高知市内編)」と、龍馬も食べた であろう当時の再現食「龍馬弁当」 龍馬の息づかいが聴こえる道マッ

究」をメイン事業として活動を展開 継続中で、「土佐の酢みかん文化研 究会」と「地域文化デジタルアーカ イブ研究会」の二つの研究会活動を 八年目の本年度は、「土佐酒学研

基本でもある「対象を 学研究会」では、「土佐学協会」の さて、私が座長を務める「土佐酒

> といった意味をもつ土佐弁 「居直る」「開き直ってがんばる」

のいずれかの活動に一度でも参加 酒販店で限定販売 した者のみが販売できる 「土佐酒を俯瞰的に捉える活動」

同会に加盟する四国内の

ものではなく、想像力豊かに解釈し の開発です。学術的でかしこまった

た龍馬ゆかりの地を巡るツアーは、

大変好評をいただきました。

※3「永田農法_

価が高く、人間にとっても有害成 植物本来の生命力が目覚め、栄養 料も極力与えず栽培することで、 る農法。農薬はもちろん、水や肥 農法、原産地再現農法とも呼ばれ 治氏が創始した農法で、スパルタ 分が少なく健康に良い作物となる 永田農業研究所代表の永田照喜

学の提唱者。水俣市ISO14001認 ※4 吉本哲朗(よしもとてつろう) 訨取得のキー マン 地元学ネットワーク主宰、地元

0 円(税込) 酒店で販売中! や酒販店店主などトー タルで二七八 ます。昨年度の活動には、協会会員

名が集まり、その全員の名前が商品

のラベルに記載されました。「日土

親しみやすさが伝わる土佐学協会の年報 「たまるか!土佐がはみかえる

> 毎年 り)・製造 (酒造 料(田植え・稲刈 えています。 捉える活動」 佐酒を俯瞰的に 捉える」という 現在六年目を迎 て実施しており、 手法を基に、「土 年間かけ 原 を

企画・製品化)・流通 (地酒流通研究)・ のない、充実した内容となっています。 まで徹底した活動は全国的にも前例 販売 (販売促進)・消費 (お酒を楽しむ会) として発売するというもので、ここ フンド「日土人(ひとびと)」(純米酒) わり、司牡丹酒造からオリジナルブ にいたるまで、一貫して土佐酒に携 また当活動は、「日本名門酒会」

り・酒搾り・商品

四万十町で以前から永田農法に取り それ以外の地域から参加される方々 さんをはじめとした地元の方々と、 ぼを貸して下さっている「鳩オヤジ」 組んでこられた佐々木さんや、 捉える活動」をふりかえってみますと、 との交流が思い出されます。特に、 産の酒造適正米「土佐錦」を使用し 昨年度までの「土佐酒を俯瞰的に 田ん

がりを見せたこと ヤーター等で参加 とさらに増加し、 五年目は二七八名 年目には倍増しま タルの参加者が四 勢の方々がバスチ ますます大きな広 した (例年100名 して下さり、 香川と愛媛から大 二四九名)。 **|**

| 同会に加盟する四|| オリジナルブラン

ド「日土人」は、 画でもあります。

国内の酒販店で、限定販売されてい

の「四国地区」限定のオリジナル企 ボレーションした合同企画で、同会 という全国的な地酒販売組織とコラ

(http://www.meimonshu.jp/)

初めての「四国の地酒」であるとも 四国中の人々が協力して創りあげた あげた土佐のピュアな純米酒」であり、 そしてたくさんの人々の手でつくり いえるでしょう。 は「土佐の輝く太陽と大地の力

Ιţ

මුණු 130

720ml 1800ml 260 四国内の一部の

べき点といえるでしょう。

好適米の最高峰「山田錦」と高知県 で「永田農法」により栽培した酒造 原料米は、四万十町 (旧窪川町)

ギを握っているといえるのではない 動は、 協会の「土佐酒を俯瞰的に捉える活 でしょうか。そういう意味では、当 郎氏の提唱する「地元学」でいうと ンスのとり方こそが、地域発展のカ 「近所づきあい/土の人」とのバラ 結果だと考えています。 まで以上に良いバランスで融合した 所づきあい」が、五年目にしてこれ でいうところの「遠距離交際」と「近 西口敏宏氏の「ネットワーク理論」 ころの「風の人」と「土の人」が、 この「遠距離交際/風の人」と、 この様な交流の広がりは、 高知県の発展にとっても、 吉^¾ 本哲

さらに全国の地方の発展にとっても、 あると確信していま 大いに役立つもので

を期待しております。 ひとびと」のご参加 のひとびと」「土の 今後も一層の「風



「土の人」の「地元学」が独りよ えなかったことが見えてくるとい たちと共に行うことで、今まで見 がりにならないように「風の人」 いる人たちを「土の人」として、 たちを「風の人」、地元に住んで ※5 「風の人」「土の人」 外から訪れる研修生やリーダー

※6 西口敏宏(にしぐちとしひろ) 世界最新のネットワーク理論の

※7「遠距離交際」と「近所づ

げて証明を試みている として、世界中の様々な実例を挙 ランスをとりながら活動している」 離交際と近所づきあいの絶妙なバ する人も組織も地域も、この遠距 鮮な情報』である。(中略)成功 とで、どっと流れ込んでくる『新 のバイパス(迂回路)を設けるこ トワークの間に、思いきって少数 識せず接触も少ない『遠い』ネッ 近の』ネットワークと、普段は意 力の一つは、あなたを取り巻く『直 会システムの新陳代謝を促す原動 する言葉。その中で西口氏は「社 ネットワーク戦略~」の中に登場 と近所づきあい ~ 成功する組織 西口敏宏氏の著書「遠距離交際



昨年度の稲刈り体験の様子

キルギスタンからコンニチハ 56

ところ変われば

一出産育児休暇一



うじはら なみ 高岡郡越知町生まれ/北大でロシ ア語を学ぶ/2001年からキルギ ス在/国立ビシケク人文大学日本 語日本文学科学科長

学部長のサインが必要だ。

卒業生が大学に専任講師採用願を出

課程を修了した日本語学科

た。大学の許可を得るためには、

「助手としてなら採用する」と言っ

氏原名美

伝統で女性が外で働くことに対するなさい」と題し、子供が生まれたらおず辞職すべきだという趣旨の発言らず辞職すべきだという趣旨の発言をしたとかで、波紋が広がっている。「男は外、女は内」の昔ながらの役「男は外、女は内」の昔ながらの役「男は外、女は内」の昔ながらの役「男は外、女は内」の昔ながらの役割分担支持が男女・世代に関係なく取りが、出産したらお辞め

提条件が男女別という限界はあるに という発想ではない。 しても「出産したらお辞めなさい」 に確保しておきたかったようだ。 軍を増員するより、 なった。学部長としては、産休予備 今年から講師と助手の兼任が不可と 場には女性正規職員がひしめいている。 しかも、 結婚と出産が幸せな人生の最大要因 は働くという女性が大半だ。ただ、 あるにしても、 性が独占しているというのが実態で 抵抗は少ない。 つち二、三回は出産で長期休職となる。 女性の場合は就職してから十数年の 男性は薄給を敬遠するから教育現 子供は三人以上が理想だから 年金がもらえるまで 手取りのいい 産休補助員を常 、職を男 前

り振られる職で、給与計算の基準と

てきかない。 助手とは若い女性に割

なる授業時間数の計算と文書作成保

お母さんは買い物にだって行ける」を確保すればいいんです」という曽を確保すればいいんです」という曽を確保すればいいんです」という曽野発言は、再就職の難しい日本では野発言は、再就職の難しい日本では野れているキーのが、転職がマイナスにないだる時ではでは、再就職の難しい日本では野れているもの出産のでは、手どもが大きなものである。...、お母さんは買い物にだって行ける」という自を確保すればいいんです」という曽を確保すればいいんです」という自を確保すればいいんです」という自

育児のための休暇を取って肩身の狭 ど想像もできない代わりに、 らけのキルギスでは今でも日常だ。 もお父さんも登場しないのかと問わ 子供の世話や留守番におじいちゃん という発言には、 するどころか、嬉しそうに、 のことばに、申し訳なさそうな顔を 赤ちゃんを産んでね」という見送り の間も一人産休に入った。「元気な い思いをする女性はいない。 同居が当たり前、隣近所が親せきだ れるかもしれない。 しかも、まだまだ男の育児休暇な 日本でなら、 しかし、 ついこ 出産や

なければならないだろう。

なければならないだろう。

なければならないだろう。

なければならないだろう。

なければならないだろう。

なければならないだろう。

とにして、ようやく片がついた。業年次の女子学生を指導担当するこただし、研究室が実習助手として卒精師採用の件は、専任一名採用、

山の町ぢゃ大分男の人らあが連れい」さらにその夕方になって「本

て行かれたと」「ええッ!」「敗け

あの日のこと

安藝眞一

の中だった。 ゆ中だった。 ゆ中だった。 ゆ中だった。 ゆ中だった。 ゆ中だった。 ゆ中だった。 ゆ中だった。 ゆりつけるような陽射し の見の暑さも、まだ底に坐り の見の暑さも、まだ底に坐り の見の暑さも、まだ底に坐り のもでいる。 終戦の日。 あの のもでいる。 というのに、白い紙の向こ の中だった。

でいる。正午 。何やら判らんいた。正午 。何やら判らんれて、計をにラジオで、うんと大事なからがあると……」と云っている。、うんと大事ななにもその意味と、小学生の私にもその気味の悪さは気があると……」と云いう事は、うんと大事なとれいう事は、うんと大事なとない。の意味と、小学生の私にもその日、家の内も外も押している。正午 。何やら判らん

だったのだろう。
もそうやと!」人々は無音となった。負け戦の恐怖がつくったデマた。身が大けらあずるがやないかえ。男の大供らぁするがやないが遠れに来て奴隷にたきアメリカが連れに来て奴隷に

ではなばならな。 10、どこでの死ね! はという裂帛の気合。けれど、生きたまま捕虜になるなけれど、生きたまま捕虜になるなけが。と云う軍人訓は耳で知ってけず」と云う軍人訓は耳で知ってはあらず、私自身は真剣

り出る。サァーッと夏の風が吹き わず引き抜くとピューツ! と鮮 さに下半身が痺れ、刺した針を思に叩き通す。途端にすさまじい痛 思いを定めて渾身の力で針を膝頭 が丘のように拡がった。ここだ! ンとして音もない。戸に 閂 をかヒイヤリとしていた。家の中はシ こなら誰にも知られず命を絶て 朝にか夜か。思案した。自害を決 あまりの恐ろしさに、廊下に転が と顔前に突き出された二つの膝頭 をあれこれ眺めるうちにニューッ 団針を持つ。どこを刺すか、身体 けて習慣上、しゃがんで右手に布 る。薄暗がりの便所はいつもより きな布団針を取り厠に入った。こ めた日、祖母の道具箱から一番大 |が噴水のように両眼にかかり 死なねばならぬ。いつ、どこで

> の朝、晒しの 褌 しめて、汗見川い。そうだ水死がいい 。 上天気探す。 刃物は止めよう。 何しろ痛 し二人が歌い乍ら川をゆく。水が添えて送ろじゃないか...」くり返 だ。すぐ浮いた。浮いたらいかん 跳ねる。岸辺の草が陽に揺れる。 花、せめてひともと母上に便りに が二人、浅瀬を漕ぎ歌いながら歩 ていると、四つか五つ位の男の子 ている内に疲れ、岸にへばりつい かに自分に云い聞かせて飛び込ん に入る。「最後の水泳か…」と静 の...」と 唇 を噛み締めその日を 抜けた。冷えた廊下の板に頬を当 まだ浅き戦線の古城に咲いた梅の いて来た。戦時中のあの軍歌「 なかなか死ねん。 何度か繰り返し と潜るが、又浮く、泳ごうとする。 て目を閉じて、失敗。を思い知る。 方法を変えよう。「生きて虜囚

泳ぎつづけていた。 気が抜けてもうどうでもよくな 気が抜けてもうどうでもよくな で、ゆっくりと水底に身体を沈って、ゆっくりと水底に身体を沈った。銀色にも見え 日の光が絡みつき、銀色にも見え 日の光が絡みつき、銀色にも見え 日の光が絡みでき、銀色にもなり にもなり眩しい光と清冽な透 れ忘れて恍惚の青い光の底へ私は れ忘れて恍惚の青い光の底へ私は れらって、やれに中ラキラと

(あきしんいち/高知市)

:目が9割!?

こ留まった印象的な表紙。その一瞬の出会いで購入し読み始める―― て出版される中で、手にする前から内容が評判になっている本は、ほんのこうした"一目惚れ"を待っているのです。

本の見た目"=「装幀」のこと、少し詳しくなれば、一目惚れで手元にやって 冊になるかもしれません。

本の背の上端に糊付けされ、本の中に折り込まれるひも状のもの。

見 返し(みかえし)

本の表紙と中身をつなぐ役割を 持った紙。力紙。何も印刷され ていないのが基本。

カバー/巻表紙

書籍の表紙を包む紙。表紙の保護、内容の表示、装飾などの機能を果たす。本の中身と同じくらい重要なもの。

そで

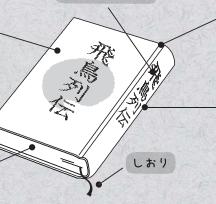
表紙を包むためのカバーの折り返し部 分のこと。

帯(おび)

主に販促手段として表紙・カバー に巻く紙。推薦文やあらすじ、紹介文などが印刷されている。 最近では多様化し、表紙と同様 に趣向を凝らしたデザインのものも多く見られる。

背文字(せもじ)

地(ち)/けした



43

背と表紙が接合するすき間に入れる 溝。表紙を開きやすくするためのもので、 上製本にのみ見られる。

背(せ)

本を綴じてある部分のこと。本棚に立てたときに見える部分。 上製本では丸みを帯びた丸背、 角張った角背がある。

書籍口印解体新書

【前編】装幀

◎ 装 幀(そうてい)

書物を綴じて表紙、扉、カバー、 化粧箱などを付け、デザインを施 して本としての体裁を飾り整える こと。一般的にはカバーや表紙な どのデザインを指す。

◎ 並製本(なみせいほん)

本文で使用している紙よりも厚い紙を表紙として、針金や接着剤で中身を綴じる方法。表紙と中身のサイズを同じ大きさに仕上げる。新書や文庫本、雑誌などに多く使用され、手になじみやすく持ち運びに便利な反面、傷みやすい性質とも言える。

◎上製本(じょうせいほん)

表紙のボール紙に針、糸かがりや接着剤で中身を綴じる高級製本方法。表紙部分を中身よりも3mmほど大きく仕上げ、必ず見返しをつける。表紙と背の間に溝をつけ、見開きやすくする。

硬質な表紙があるため、高級感 があり丈夫で長持ちする書籍と いえる。布張りなどによる装幀も 可能。

一歩先へ!文章力レベルアップ講座 (10)

色を伝える表現方法 _{水 木 和 香}



みずき わか 高知市在住。フリーライター、 生涯学習コーディネーター。 文章教室や漫画の原作教室な ど高知市を中心に開催している。

桜色・水色・藍色・みかん色など、 というような彩度に関する修飾語 を足せば、より微妙な色彩を表現 を足せば、より微妙な色彩を表現 を用に関する修飾語を用いれば、 より細かな分類もできます。 また、赤み がかった・青みを帯びた、という がかった・青みを帯びた、という より細かな分類もできます。

というような彩度に関する修飾語 少な飾語、鮮やかな・くすんだ・鈍い 色をい・薄いといった明度に関する修 色(よこの基本色に、明るい・暗い・濃)・正確に相手に伝えたいと思うなら、 ゎだ 自分のイメージする色を確実に しか

こんなに多くの言葉があるのに、人も多いでしょう。 ーモンピンクのように、カタカナーモンピンクのように、カタカナー・ブルー・コーラルレッド・サイトブルー・コーラルレッド・サービにロイヤルブルー・ミッドナー

それでもまだ自分のイメー ジの色

少なくなってきています。 「固有色名」を使うこともあります。 しかしいくら古くから使われ親し は言え、ストレートに読み手に伝 は言え、ストレートに読み手に伝 わらないようでは意味がありません。 わらないようでは意味がありません。 わがしいできた雅な伝統色名であると まれてきた雅な伝統色名であると しかし萌葱色(もえぎ)・檜皮色(ひ しかし萌葱色(もえぎ)・檜皮色(ひ しかしずると(まなんど)・丁子 した(ちょうじ)となると、正確な 色(ちょうじ)となると、正確な 色ですぐに思い浮かべられる人は やなくなってきています。

っぱの (ような茶)

色

といった、

とえる言い回しから、

といった実際の物に直接た

ように赤い)色、

朽ち果てた葉

逆巻く炎の

うな」という比喩を用いて表します。

石炭のような黒、

ミルクのよう

を表現できない場合は、

の

オリジナルでユニー クな表現も用

が良いようです。
気全体を伝える言葉と考えたほう気全体を伝える言葉と考えたほうス・ラムネ色の恋となれば、もうしかし、虹色の夢・夏色のドレいられます。

違いありません。
多くの色彩表現が生まれてくるにに透過光も加わった現在、さらにに透過光も加わった現在、さらにはびついています。パソコンの液結びついています。パソコンの液の時代の生活環境や文化と密接にの時代原する感覚や考え方は、そ

本も見た

時間潰しで本屋に立ち寄り、ふと目 年間約8万冊もの本が新刊書とし 一握り。それ以外の本たちは、まさい 本の命運を握っているとも言える" きたあの本も、もっとお気に入りの一

花ぎれ(はなぎれ)

ヘドバン・花布とも言い、中身の 背の上下両端に貼りつけられ る布のこと。本を丈夫にするとと もに、装飾的な役割も果たす。 上製本にのみ見られる。

天(てん)

扉(とびら)

書籍の中身の最初のページ。 書籍名や著者名を入れる場合 が多い。

本文との区別のために少し厚手の紙を使うこともある。

小口(こぐち)

背の反対側の切断面のこと。 本来は天と地とを合わせ た三方の端をさす。

チリ(ちり)

中身を保護するために、中身の 寸法より出っぱらせてある表紙 部分のこと。

様々あるが3mm程度が一般的で、天・地・小口の三方のチリは同寸法である。

ひら

表紙の平らになっている部分。本 屋などの「ひら積み」の「ひら」は ここからきている。

チリ(ちり)

地(ち)/けした

ちの力とは、まことにありがたい はみな目が点になった。 無難より ちゃんが仲良しグルー プ全員を誘 みょみょこ (中一)。 友だちのサク ビで開催を知るイベントである。 ってよさこいは「よっぽど好きな 響はほとんどない。 も反対する気はアリマセン。 ものである。もちろん、亭主も私 も友達との青春が勝ったか。 の意外な申し出。居合わせた家族 つのが嫌いで少々シャイな娘から ったらしいのだが、なにしろ目立 知市以外のエリアには、祭りの影 すごく人口が増え、熱狂的に盛り も暑い八月九日から十二日まで行 まつり」だと思う。 一年でもっと したのは、無難と安定を愛する娘・ に参加させてください』と言いだ 費は貯金から出します。 よさこい 上がる。が、わが香南市を含む高 である高知市はその時期だけもの われる和製カーニバルで、開催地 人が参加するもの」 であり、テレ さて、今年五月のこと。『参加 知の夏といえば、「よさこい 郡部の人にと

とみょみょこ。嗚呼、美しき親子 激励、「ありがとう、おかあさん」 これヨロシク」と渡された紙を見て、 協力するよ。がんばりや」と 続いて「じゃあ、

> ギャー・と思うが後の祭り。 所は、うちから車で一時間。 の一ヶ月、練習は週四日。 には練習スケジュール。本番まで

はなく、亭主と息子はレトルトカ 学校の部活を休む。車で娘の友達 うでない週に二日は、娘の友人も レーだ。 三人を順に迎えに寄ってから会場 畑を早めに切り上げる。 娘たちも 送迎することになった。 担当の日は えちゃんのお父さんと私が交代で 仕事が早く終わる日は彼女が、そ へ向かう。当然、夕飯を作る時間 ムのボーカル兼世話役ということで んのお母さん・ヒトミンは、チー 今回のいいだしっペ・サクちゃ

員が生意気な持論で白熱していた 彼女らの真っすぐで辛辣でピュア ガールズトークが面白かったからだ。 なにかを分けてもらっていた。た だが)、若いパワーと、懐かしい ないふりして耳がダンボだったの な感性に触れて (というか、聞か 踊りの反省、流行歌、恋バナシ。 娘たちのがんばりが素敵だったのと、 それが意外に苦にならなかったのは 時間運転 (しかも渋滞) なのだが 行き帰りの車中で繰り広げられる 畑の肉体労働で疲れた上での長 ある夜は帰りの車中で全

目が重いなかで

やまげんらう by (香南市在住)

だけで汗をかく日々だったが、娘 そのアンバランスは今限定の輝きだ。 のだが、ふと静かになったので見 は殺人的な猛暑が続き、息をする 練習は週五に増えた。今年の高知 号が点滅になる)。 むエリアでは、午後九時以降は信 繁華街の灯(ちなみに私たちが住 てみれば、 た目が娘さんでも、まだまだ子ども 夏休みに入り、当日が近づくと 彼女らの目線の先には 生意気で、見

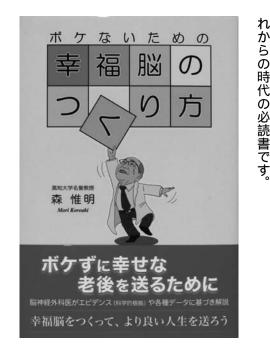
> 本番を迎えた。 たちはとうとう一日も練習を休まず、

なんとか事なきを得た。(姉に感 出して巻き込み、ドタバタの末に 阪から帰郷していた姉にSOSを 日になって大慌てだった。 化粧をなんとかせねば。 化粧もままならんのに、 準備万端の娘とは違い、 急遽、 娘の髪と 私は当 日々の

み締めた。 もこれでゴールだ。 ていった。長かったよさこい騒ぎ 娘たちのチームは笑顔で踊り抜け される喜びと、 妥を見送りながら、送迎から解放 ヒトミンのボーカルが響きわたり、 帯屋町アーケードの大観衆の中 少々の寂しさを噛 私はその後ろ

デシタ。 いやはや、 おかげさまでい

ゲームを買う言い訳として、どう ょみょこのよさこい出場記念』。 いたのが今回の副題にもなった『み 言い訳」として、 でもないのにゲームソフトを買う 屋へ出かけた。そこで「特別な日 家にいて、思いつきで中古ゲーム なかった亭主とみーたは、当日も ところで、今回ほとんど出番が みーたが思いつ



ボケないための 幸福脳のつく

188×127 202頁 / 発行 東京図書出版 / 定価 1300円(税別)

ブックレビュ-

寝たきりになったり、生きがいとによって得た老後の時間も、 できるでしょうか。 れだけの人が「 長寿大国日本 健 ゃ のない

やかな心」であることが大切。 ことが必須といえるでしょう。 意識の持ち方に重点をおいて紹介していることです。 集められた科学的な根拠や各種: やかに長生きするためには、 認知症(ボケ タよりも「 中でも、 長生きすることにより ないでしょうか。 であっ たりしては さらに特筆すべ 特に社会的問題となり、 幸福脳」 に関する情報を、 、きは、 を作るための デー しかしそれ以上に「 幸せな老後」 せっかく長生きするこ かに年をとる」ことが 罹りや 健康な体を維持する 本書がそうし タに基づい すく 世 界各国 そのうちど 病気に罹り)考え方、 なる「 とはい 罹 世患者も て解説 た科 から 状態

生き病

の

書は、

の

では

してい

ず。

字的なデー

森 惟明(もりこれあき) 先生 プロフィール 1934(昭和9)年4月16日生まれ。大阪市北区出身。脳神経外科専門医。 京都大学医学部卒、医学博士。米国ノースウエスタン大学に留学し世界 最先端の小児神経外科学を修める。現在、高知大学名誉教授。

著書「健やかな第二の人生をめざして」「ボクの写真メモ」「ここが知り たいガンマナイフ治療Q&A」「脳神経外科 今日の話題



超高齢社会を迎えるこ

出 版 物 紹

値段のないものはお売りできません。

貸出はいたします。

打たん太鼓は鳴らん 高知アイス25周年記念

浜町 文也

有限会社高知アイス浜町文也

年の歩みを綴った一冊。 成するまでに、一体どんなスト 海外でも認められるアイスが完 社長の半生と高知アイス二十五 リーが..!? 高知県内のみならず、県外や

り続けた《蔵》と《桜》 の手で残して置きたい」と、撮 されたが、「自分を育んでくれ た大切な故郷香美の地を、 子ども時代のことなどのエッ その後、 長年続けた俳句を織 闘病生活を余儀なく の写真集 自分

た言葉の数々を紹介しています。

の中で支えられ、

指針にしてき

ている「打たん太鼓は鳴らん」

浜町社長が今までの歩み

後半では、タイトルにもなっ

120頁 有限会社 高知アイス

1200円(税別)

直接お問い合わせ下さい

ご希望の方は(有)高知アイス(088-850-5288)へ

B判变形

発行

A4判変形 発行 岩山 228頁 岩崎勇 写真家・岩崎勇公式ホームページ http://isamu-iwasaki.p2.weblife.me

岩崎勇望郷写真集

勇

わが故郷土佐香美にあり

月冬のこと。その春、 毎年足を運んだ。 を開始したのが、二〇〇七年一 な遺産を残しておきたくて記録 定のしだれ桜に出会い、 蔵》が存在する。 香美の田舎の集落には多数 先人の貴重 物部村頓 一目ぼれ

詳しくは次頁をご覧下さい高知での展覧会開催決定!!

 205×185 102頁 発行 中西繁アトリエ [価 2000円(税込) ご希望の方は「中西繁アートギャラリー」 http://www7b.biglobe.ne.jp/ nakanishi-art

ゴッホの部屋の日々

中西 繁

地を巡ったエッセイ集。 ッホが一八八六年の春、アント が彩りを添えている。 とは思いもかけないことだった」 ワープから突然パリに出て来て、 ある著者が撮影した美しい写直 僕が借りて絵を描くことになる 弟テオと一年半住んだ部屋を、 「フィンセント・ファン・ゴ パリでの生活を中心に各 画家で

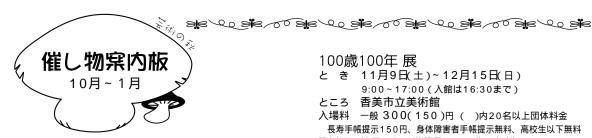
あっぱれ自由自在である。」 が広がる。 もほんの数分で、 らありゃあしない。 には霙がきた。 仰いでみただけのこと。 会津路 』より)



新書判 120頁 発 行 飛鳥出版室 私家版

ウカイヒロシ

歩き疲れ、ぐんなりとして空を いひねた旅人で、若松の手前で しい気持ちにさせてくれます。 ンポと言葉遣いが、どこか懐か 詩人であるウカイさん独特のテ 命で少し滑稽で、実に人間くさい。 文集 蜻蛉紀行」待望の第二弾。 登場する男たちは皆、一生懸 「男は、どうということはな 二〇一一年に発行された「 まことに天が神の所業が 歩きにくいった 見る間に青空 が、その霙 雨の次



昭和のレトロ展 -Part 2 -企画展

開催中~11月17日(日) とき

ところ 越知町立横倉山自然の森博物館1階ホール

入場料

但し、入館料は別途必要。大人500円、高校・大学生400円、 小・中学生200円。20名以上の各団体は100円引き。70歳以上 は半額。身障者の方は入館料無料。

小林久子 中西繁 2 人展 - 小林久子、ニューヨークから来日-

11月4日(月)~11月10日(日) 10:30~18:30(初日は13:00から)

みなとみらい駅 サブウェイギャラリーM

(みなとみらい線「みなとみらい」駅構内[改札外・地下3階])

入場料 無料

第67回 秋季 いけばな県展

11月9日(土)~11月10日(日)

こん

高知市文化プラザ かるぽーと7階

第1・第2展示場 入場料 前売 400円

100歳100年 展

11月9日(土)~12月15日(日)

9:00~17:00(入館は16:30まで) 香美市立美術館

一般 300(150)円 ()内20名以上団体料金

長寿手帳提示150円、身体障害者手帳提示無料、高校生以下無料

関連企画 館長または学芸員による作品解説

[日時]毎週日曜日14:00~[場所]展示室(入場料要) 初日は14:00よりオープニングセレモニーを行います

小林久子 ピーターミラー 中西繁

3 人展 -ニューヨーク・鎌倉・高知を結んで-

11月28日(木)~12月4日(水)

10:00~18:00(初日は13:00から)

ところ 高新画廊 無料 入場料

平成26年 県展書道 無鑑査展

平成26年1月4日(土)~1月10日(金) 10:00~18:00(最終日は17:00まで)

ところ 高新画廊



私 チャ 感じるなんて.. の 秋 と呼んでます。 の味覚といえば ァ (越知町) っ て知っ では いなかでは チャ てますか? インドウ 1 ァ 上

テと鳥肉の炒め物」

テ

の

酢みそ和え」

と「チ

雑 書 き

間は

まだまだ刺すような陽

朝晩はぐっと冷え

あすかの社窓から

に行きます

今月は誰と一

緒

か

かな?」「

今回はあの

にしたらどうやろ?」「どんな料理やっ

四月から始まっ たシャ

ッフルランチ。

組になり、

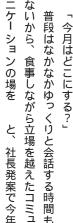
月に

度

んな「その日」 また新たな会話に繋がるからいいんです。(笑)

くらい浸透するんやろ...と思っていましたが を楽しみにしているようです。 趣旨がずれてる!? 会話の種も出来て、 お店発掘と終わった後の写真付き報告。 スター OLさん顔負けの、 かし... 最も熱が入っていることと言え トするまではどの とは思いつつも、それが なかなかの手ごたえ。 ランチの美味しい 新たな共通の 想像以上にみ

今日は月に一度の…





込むようになったしの高知でも、お にトイレに行く回数が増えました。 なところで季節の移り変わり た今日この頃。 ı

ど食卓にあがる野菜です。 よね)。 たい くっ 五個くら るという、 てもこの ているというより、 野 |菜です(スーパーでは一袋三~ 当然 l١ 季節になると勝手にでき で百円ほどで売られています 手の 毎日といっ かからないあり てい 料理は、 しし が ほ

印刷屋さんの 「すったもんだ」



夏の猛暑から一転し、すっかり秋の風を感じるこの頃。我が家のおてんば 次女、小夏(6歳)のネタをひとつ。

先日、いつも送り迎えをしてくれている義母がいつものように迎えにいくと、 保育園の先生曰く、こなっちゃんが朝から元気がないので、「どうしたの?」 と聞いてみたら「う~ん、小夏は、何か元気が出んがよ!」と煮え切らない どこか具合でも悪いかと心配し「どうして元気が出んが?」と聞くと、「う

今日は帰っても遊ぶ気になれん」とのこと。元気付けに自動販売機でジュ· スを買い、帰宅後、買ってもらったジュースをグビグビと飲み干すや否や、 お隣の友達宅に「あそぼ~」と駆け込んだとさ。

皆さんも良い秋をご堪能ください。

(永野正将)

かが家の太郎

後ろに車を三、四台従えた一匹の 白い犬が対向車線を歩いている。 に昼食をとるために自宅に帰る途中、 暑い夏のある日、 いつものよう

ゃん」。これは大事と家に帰るなよく見ると、近所の「さくらち り電話をいれる。 「大変、今さくらちゃんが国道を

うて。そのうち帰ってくるろう」 と、奥さん。 うと思っていたら国道に出てしも 探しても見つからんし、どうしよ 「そうよ、鎖が抜けて出たみたい。

たことのないわが家の太郎とはえ ら最後、一度も家に直接帰って来 なんと大らかなこと。脱出した

「エーッ、大丈夫?」

済ませて再び会社へ。 他人事ながら心配しつつ昼食を さくらちゃ んの家を車窓からひ

ませんか?」

ったとか。 っているではないか。もう、びっ ょいと見ると、鎖につながれて座 で餌を持っていくと、難なく捕ま くり。ものの一時間で一件落着。 聞けば、近所まで帰って来たの

いけれど、待ちかねて平らげるら 食事もドッグフー ドしか与えな

しない。 あれこれと与えるけれど見向きも 暑さで食欲が無いものだから心配で、 それにひきかえ太郎と来たら、

もしれません。一切油を使わず、 様に相談すると、 「あのう、私のを分けるのはいけ をしてみてください」とのこと。 ので、食事で調整した方がいいか 「薬を呑ませ続けるのはよくない こ飯に野菜と鶏肉を炒めて手作り 皮膚が弱いこともあってお医者

パンで鶏肉と共にご飯を入れて弱 につけて冷やし、 火でじっくり炒める。 かぼちゃを薄切りにして、フライ たものを皿に入れて、 調味料の入ったものはダメです」 早速、人参、大根、キャベツに 今度は氷水 出来上がっ

るだろうか。 れた。でも、これを毎日続けられ もわかるのか、ペロリと食べてく そこまでして作ったものは太郎に 「はいお待たせ、どうぞ」 私はもう汗びっしょり。 さすが

もううんざり。 時間も遅くなったし、この暑いの に再びガスコンロの前に立つなんて、 さて今度は自分のための料理。

手がかかるねえ。 太郎ちゃん、 (ながのまさこ/飛鳥常務取締役) あんたお父さんよ

